

# 豊かに、しなやかに 退婦教結成50周年記念 レセプション・新年会

別役 美佐



一月二十四日(水)、「退婦教結成五十周年記念レセプション・新年会」が高知城ホール四階の大ホールで開催されました。五百数名の退職者の組織の中で、百八十名近い参加者です。大ホールを狭く感じるのも無理はありません。結成以来、「教え子をふたたび戦場へ送らない」を信条に、平和運動、女性の地位向上、制度作り(産休や育児休業等)、母親運動への取り組み等、今なお、成長・発展の過程であることを認識する会となりました。一九六八年の結成以来の報告を写真と言葉で綴りながら振り返ると、初心完徹までの運動への根気強さ、粘り強さ、骨髄を漲る取組、力強さを身近に感じとり、「これからの」組織が何を成すべきなのかを、訴える場面でもありました。特に、賀寿を迎えられた方々が、豊かに、しなやかに、社会、地域に於いて、自分の生き方を、在り様と平和に対する思いを語られる姿勢には引きつけられ、同性として魅せられました。会場への参加は叶わず、ビデオメッセージで登場された安芸支部の野村教授さんの「私は、百二歳です」の第一声には、感嘆の声とともに、どよめきが起りました。組織の結成から半世紀を経ています。まだまだ、諸先輩の方々は、「聞かねばならない」ことがあります。昼食後は、県内を七つの支部に分けて取り組むレクリエーションの発表でした。元政治風刺の寸劇に始まり、元気体操披露の支部、ダンスの発表支部等、女性ならではの創意工夫を取り入れた、華やかさの中に、内なる充実と若さ、力の漲る会となりました。

## 退婦教50周年記念レセプション・新年会



### 高退協 総会・懇親会

5月26日(土)  
 総会 1430～1630 高知城ホール3F会議室  
 懇親会 1700～1900 高知城ホール2F

### 退職組合員を励まし新加入を祝う会

3月24日(土) 1730～  
 高知城ホール4F

### 短歌

NHK「クローズアップ現代+」を視て

墓つくる金なきゆえに遺骨らは  
 業者の手にて海にまかる

山本品子

遺骨砕き金歯、釘らは除かれて  
 遂には石に圧縮されゆく

(骨をつなぐ釘)

遺骨らは物以下となり死者達の  
 精神性はいずこにかあらん

返せよ子らに

校庭にまたも落下の米軍ヘリ  
 澄みわたる空返せよ子らに

叶風淑子

沖縄の痛みはわたしの痛みとて  
 友は四度め支援に向かう

針は指す地球滅亡へあと二分  
 過去最短の終末時計

### 川柳 帆傘抄

小澤幸泉

働いて 働き過ぎて なお足らず  
 儂さも 安らぎとなる 老いの秋  
 七十代 まだまだ元氣 米を研ぐ  
 気がつけば 重い荷物を 背負わされ  
 生まれ来る 宝の重み 抱きしめる  
 愛想よく「またうっかり」とやってくる  
 今日からは 二人で旅に 出ませんか  
 酒消えて 十年と一ヶ月  
 何事も なかったように 今日暮れ  
 耐えられぬ 独りでかける 冬の海  
 「文化の日」 明治が近く なりにけり  
 (「十一月三日」が「明治の日」に)

### 冬の星座

西村雅人

夜の庭から空を見た  
 屋根と屋根のシルエットの向こうに  
 冬の星が五つ六つ  
 何かの形に似ているがはっきりしない  
 あの星座の名前は何だろう  
 しばらく眺めているうちに  
 君のことを考えていた  
 もう星になって君のことを

君がまだ地上にいた頃  
 いったったか 電話で聞いた  
 君の飼ひ猫パールのかわいそうな最期  
 ビニールを食べてしまった  
 病院でも手の施しようがなかったらしい  
 「パールは息を引き取るときに  
 小さな顔をボクの顔に押しつけてきたよ」  
 家族と別れた  
 ひとりぼっちの君の相棒だったパール  
 星が一つだけ  
 ずいぶん離れて上の方で光っている  
 あっ、あれは猫の尻尾の先だ  
 パールのピンと伸ばした尻尾の先だ  
 星をつなげると猫の姿になった  
 尻尾の先から背中をつたい  
 小さな顔にいたるまで  
 君の見えない大きな手が  
 やさしくなでているかもしれない  
 冬の星座のひとつになって